

成年年齢 引き下げ

民事関係ケーススタディ
紙芝居

法律問題マンガ教材

2020年
〇月×日

ときはさかのぼり、今日は、2020年〇月
×日です。



こちらは、A君です。A君は、今月で、18
歳になりました。

A君はある日、パソコンでインターネット
を見ていました。

『ん、んん？なにこれ？』

オンライン
カウンセラー
大儲け

『あなたもオンラインカウンセラーになれば
大儲けできる！？』

オンラインで、いろいろな人のお悩み相談
にのってあげること、報酬金がたくさんも
らえるかもしれません！？』



- ・資格取得講習
- ・50万円
- ・特別融資



一か月後

『へー、すごい、なるほど、人の役に立つことで、報酬金がもらえるのか。これやってみたいなあ。詳しく読んでみよう』

『なにになに、オンラインカウンセラーになるには資格取得講習を受ける必要があります。資格取得講習は50万円かかりますが、受講者限定の特別な融資をご紹介しますことができます。この特別融資で資格取得講習料金50万円を支払って、その後、報酬金が入ればすぐに返済できます』

『なるほど、報酬金をもらってすぐに返済できるなら、全然オッケーだ。よし、申し込みをしよう！！』

こうして、A君は、特別融資で50万円を借り、このオンラインカウンセラー資格取得講習料金として、この50万円を支払いました

『ヤッター！！これで、僕もオンラインカウンセラーになれるぞ。これでたくさんお金を稼げるぞやったー！！』

それから一か月後のことです。
なんと！！

不合格 申込やり直し



『え、ええー！！不合格！？ガーン、ガガーン、
そ、そ、そんなー！！』

『あなたは修了試験に不合格になりましたので、
オンラインカウンセラー資格は取得できませんでした。

再度、試験を受けるためには、もう一度、料金を支払って、講習の申し込みから、やり直しになります！？』

『そ、そ、そんなぁ。話が違うよ。修了試験があるなんて聞き忘れてたのかなぁ。しかも不合格になったらまた最初からやり直しなんて、ひどいよ！！』

すると、A君に電話がかかってきました。
プルルルル

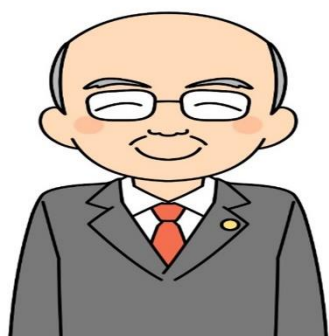
『もしもし、わたくし、先日、Aさんに50万円を融資したB金融のものです。Aさん、今月の返済金が振り込まれていないんですが、どうなってるんですかね？初回から、返済を怠るなんて、どうなってるんですか？まさか、借りたお金を返さないなんてことはないですよ？』



『す、す、すいません！！すぐに、すぐに支払いますので！！』

専門家

困ったA君は、お母さんに相談したところ、こういった問題に詳しい専門家の先生のところ相談に行くことになりました。



C先生

こちらが、専門家のC先生です。

『こんにちは。今日は、どうされましたか？』

A君とA君のお母さんは詳しく事情を説明しました。

すると、専門家の先生はこう言いました。

『なるほど、そういったご事情だったのですね』

『今回の契約をしたのは、
2020年〇月×日ということですね』

2020年
〇月 × 日

A君18歳 未成年

未成年者 契約の取消権

例外もある



『そして、この時点で、今回の契約をしたA君は、18歳で、未成年ですね』

『そして、今回、A君は、ご両親に相談せず、一人で契約をしてしまったという状況ですと、A君のご両親は、A君が締結した契約を取り消せる可能性があります。』

これは民法5条2項という法律に定められており、未成年者契約の取消権と言ったりします』

『ただし、未成年者であれば何でも取り消しができるかというと、そうではなく、例外もあります。』

たとえば、この法律では、A君が、事前にご両親の同意を得ていたり、A君が事前にご両親から自由に使ってよいと言われていたお小遣いの範囲の買い物であったりする場合はこの取り消しはできません。

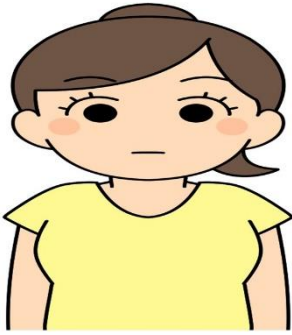
また、A君が、自分が成年者であると嘘をついたり、だますようなことをしたりした場合にも、取り消しはできなくなります。

今回、そういった事情はないようですので、取り消しできる可能性がありますね』

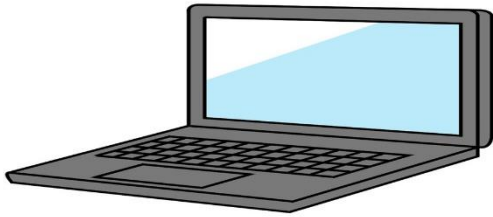
『なるほど、取り消し権というのがあるのでですね、ありがとうございます。ご相談できてよかったです。ありがとうございます』

2022年 4月2日

18
歳



D
子



それから2年後のことです。

ときは、2022年4月2日のことです。

A君には、2歳、年の離れた妹であるD子さんという、妹さんがいました。

こちらが、そのD子さんです。Dさんは18歳です。

Dさんは町を歩いていると、最新型のパソコンが展示されている店舗のディスプレイを見つけました。

『うわー、これって、最新型のパソコンだ、うわー、いいなあ。カッコいいなー。』

あれ、なんだろこれ、なにに「今なら超お得キャンペーン中、最初の一年間は月々1000円で最新型のパソコンがゲットできちゃう!？」

へー、そうなの、1000円なら私も全然払える。これってお得だわ!!』

他方、こちらは、このお店の店員さんです。

『お客様、そちらの最新型パソコン、ただいまお得なキャンペーン中でして、お値段30万円ですが、なんと、今なら、一年間、月々1000円でゲットできちゃいますよ。いかがですか?』



『これって、ホントに、月額1000円でいいんですか？』

じゃあ、月額1000円なら私でも払えるので、このタブレットください』

『はい、お買い上げありがとうございます』

『やったー、超お得に、最新型のパソコンゲットできた。ラッキー』



それから数か月後のことです。D子さんは、パソコンでインターネットを見ていました。

『ん、んん？なにこれ？要注意！後になってから高額な請求が来る契約に要注意！！』

あれ、そういえば、先日買ったこのパソコンも、店員さんが、何かそんなこと言ってたけど、ちゃんと聞いてなかったんだよなあ。ちょっと、電話で聞いてみよう』



『もしもし、あ、どうもすみません、先日、最新型のパソコンを買ったDですが、これって、毎月1000円支払えばいいんですよね？』

一年間
月額1,000円
一年後
288,000円一括

『お客様、ご購入から1年間は毎月1000円ですが、一年経ったら残りの金額を一括払い、つまり、一年後に28万8000円一括払いです。以上については、ご説明書類にお客様のサインもいただいております。』



C
先
生

2022年
4月2日

D子18歳
成年

『え、ええー！！一年後に28万8,000円
なんて払えない！！どうしょー！！』

困ったD子さんは、お母さんに相談したところ、こういった問題に詳しい専門家の先生のところに相談に行くことになりました。

こちらが、専門家のC先生です。

『こんにちは。今日は、どうされましたか？』

D子さんとD子さんのお母さんは詳しく事情を説明しました。

すると、専門家の先生はこう言いました。

『なるほど、そういったご事情だったのですね』

『今回の契約をしたのは、2022年4月2日ということですね。そして、この時点で、今回の契約をしたD子さんは、18歳ということですね』

『実は、2022年4月1日からは、法律が変わりまして、18歳は未成年ではなく成年ということになりました。』

そのため、今回の契約をした時点で、D子さんは未成年ではなく成年であったということになります。成年になることによって、親権者の親権に服することがなくなり、親権者の同意なく、一人で契約を締結できるようになります。

そのため、今回の契約は、ご両親に相談なく契約をしたということですが、A君のときとは異なり、D子さんは18歳でもう成年として扱われるため、未成年契約の取消権は行使できないのです』



『え、ええー！！そ、そ、そんなー！！』

<参考>

成年になると、親権者の親権に服することがなくなり、一人で有効に契約を締結できるようになります。成年年齢引き下げの法改正により、いろいろな場面に影響があるところ、特に、未成年者契約の取消しの対象となる事例がより限定的になりますので、この点をクローズアップした物語を、マンガ形式でご紹介しました。

もちろん最終的な結論は、ケースバイケースであり、裁判になってみないとわからないケースが多いですが、一つのモデル事例として、想定され得る事例をお伝えしました。

なお、本件では、別途、消費者契約法、特定商取引法、割賦販売法などの問題もあり得ると思われます。

実際に類似のケースに遭遇した場合は、ケースバイケースですので、慎重な対応、専門家への早期相談等を推奨しております（この物語は制作時点の情報になりますので最新の法改正、判例変更にご注意下さい）。